

元祖 石川書店

学が、アトです!!

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

小説のガリガリの鳴くこと、
こもよかたです。

第21話 R02.06.23(火)

「動けば変わる。
なりたい自分になる。」

★今回、紹介する本は、『あたらしい高校生』（著/山本つぼみ、出版/IBCパブリッシング）。

何より、タイトルがよいですね。「地方の公立高校出身」、「留学経験ゼロ」、「苦手科目は英語」という女子高校生が、あるきっかけから、海外留学を目ざし、海外のトップ大学に入学し、自分が本当にやりたいことを探り続ける話。実話です。

「できる」「できない」の前に、まず、「やりたい」「やりたくない」があって、その自分の気持ちを大事にすることがすごく大切だと思わされます。

特に、附中はチャンスにあふれています。自分の目の前にたくさんの選択肢が転がっているのに、それをみすみすみ見逃すのはもったいないです。「自分にはできない」なんて思いこみを捨てて、一歩、踏み出してみてもいいのではでしょうか？



あたらしい 高校生

（海外のトップ大学に合格した、
日本の普通的女子高生の話）

山本つぼみ

IBCパブリッシング

表紙のデザインが、アトです。

「分からないということとは、
恥ずかしいことではなく、
つねに伸び代がある」
(p.159)

「できない理由よりも
できる理由を探る方が、
ワクワクしませんか？」
(p.88)

「しつこさと粘りは褒め言葉であり、
自己肯定感の」
変化のプライドアムてがてこわして、あたらしい自分へ。
(p.198)

